

不妊治療について

～◎の3つが特に重要とされています。

判明している/推測される不妊原因

◎排卵因子（排卵障害 多のう胞性卵巣 卵巣予備能低下）

◎男性因子（精子/精液の量的質的異常 射精障害/性交障害）

◎卵管因子

□子宮因子（□子宮筋腫 □子宮腺筋症 □子宮内膜ポリープ □精子・頸管粘液不適合）

□機能性不妊

□子宮内膜症

□内分泌因子（高プロラクチン 甲状腺機能低下・甲状腺機能亢進 血糖値異常）

□その他（ ）

不妊歴（ 年）と現在の年齢（ 才）を考えて、

□減量（目標 kg）

□漢方治療（ ）

□内分泌治療（ ）

□タイミング療法（ 周期）

□排卵誘発

□人工授精（ 周期）

□生殖補助医療（体外受精 / 顕微授精）

起こりえるリスク・合併症

□多胎妊娠 □卵巣過剰刺激症候群 □子宮内感染

□その他（ ）

特記事項（不妊治療の条件として、厚生労働省の指定です。）

二人が(法律婚・事実婚いずれかの)婚姻関係にあり、

ア 重婚でない(両者がそれぞれ他人と法律婚でない)こと。

イ 同一世帯であること。

ウ 治療の結果、出生した子について認知を行う意向があること。

(入籍は必須条件ではありませんが、同一世帯でない場合には、その理由をカルテに記載することになっています。)